

バイオマスタウン構想分析DB

【リンク】[小山市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
33	2009.3.31			栃木県	小山市	160,150	171.63
構想の要約		小山市の農用地や平地林、市民生活から発生するバイオマスのたい肥化及びエネルギー化等に取り組み、「水と緑と大地」の豊かさを次代へ引き継ぐ決意を「おやま菜の花プロジェクト」等を通して周知し、環境に配慮し、自然と共生する「環境都市おやま」を実現する。					
構想に盛り込まれた事業		I. 食品廃棄物の飼料化、たい肥化、メタン発酵、熱利用技術の活用 II. 「おやま菜の花プロジェクト」の推進 III. 家畜排せつ物と未利用バイオマスへのたい肥化、メタン発酵、燃料化技術の活用 IV. 草本系の炭化、ペレット化、ガス化、バイオエタノール化技術の活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材		その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他(敷料)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

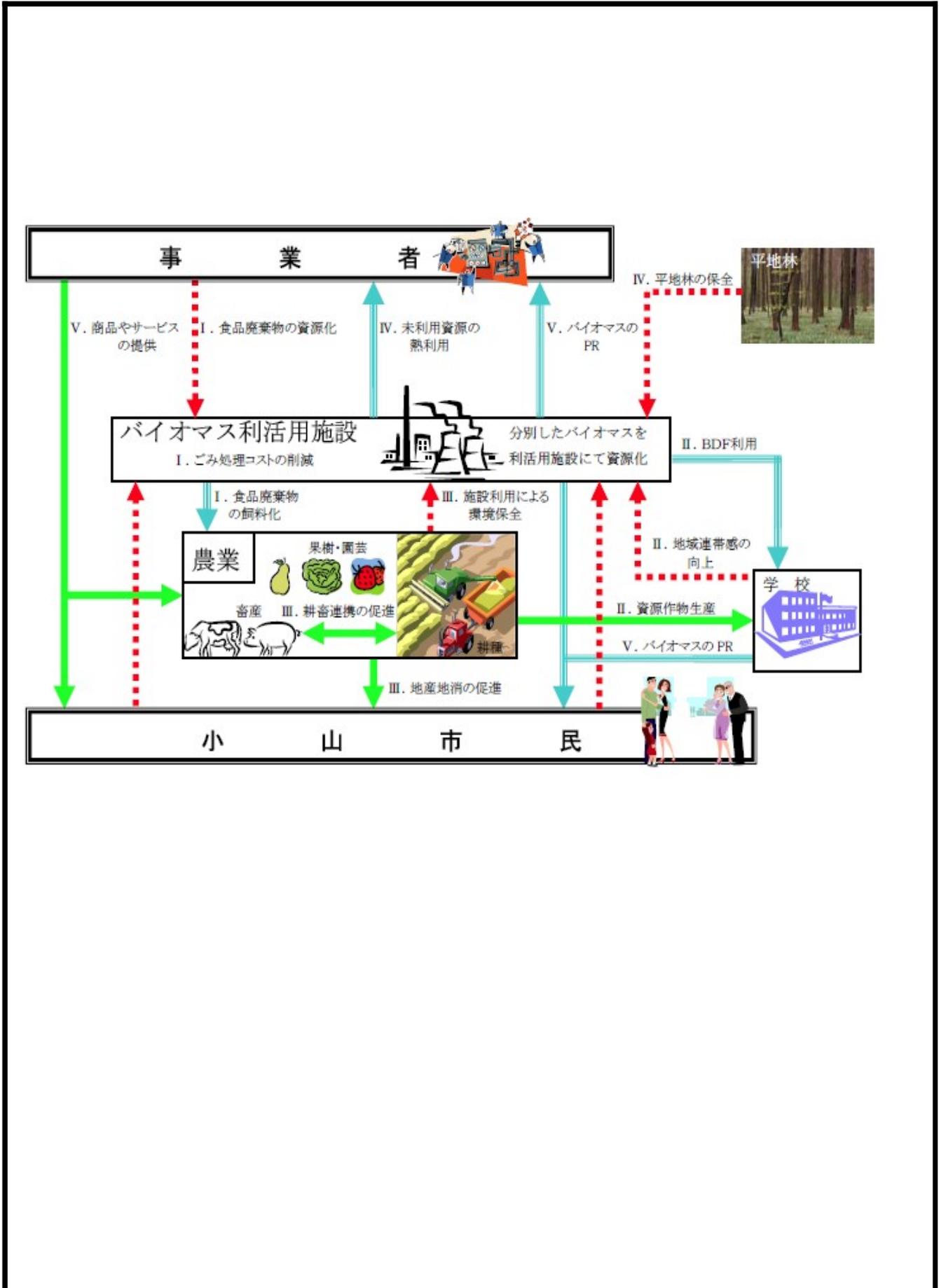
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量		利活用目標		利活用方法	利活用目標率
	湿潤量 (t/年)	炭素換算	湿潤量 (t/年)	炭素換算		
廃棄物系バイオマス		8,027		7,243		90%
家畜排せつ物	65,680	3,919	62,396	3,527	たい肥、メタン	90%
家庭系食品廃棄物	3,699	163	2,219	98	飼料、メタン、たい肥	60%
廃食用油	653	466	425	303	BDF	65%
事業系食品廃棄物	2,028	90	1,217	54	飼料、メタン、たい肥	60%
せん定枝	1,639	365	1,065	237	チップ・炭	65%
下水道汚泥	4,454	428	4,454	428	建設材、たい肥	100%
し尿・浄化槽・農集排汚泥	27,036	2,596	27,036	2,596	たい肥	100%
未利用バイオマス		9,279		3,718		40%
稲わら	18,728	5,362	8,428	2,413	飼料、敷藁、たい肥	45%
もみ殻	5,016	1,436	2,508	718	炭、たい肥	50%
麦わら・麦もみ	7,200	2,061	1,800	515	飼料、敷藁、たい肥	25%
野菜残さ等	2,449	200	612	50	飼料化、たい肥	25%
林地残材	988	220	99	22	炭、ガス、エタノール	10%

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)